

研 究 業 績 書

(2024年8月9日作成)

専 門 分 野	金融マクロ経済学	氏 名	中 川 竜 一	印
著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分 のページ)	
学位論文				
中川竜一 『金融政策の効果波及経路に 関する理論的・実証的研究』	単著	2001 年 9 月	京都大学大学院経済学研究科 博士（経済学） 学位申請論文	
著書、訳書				
内田滋・西脇廣治編著 『現代金融論』	共著	2002 年 9 月	勁草書房（91～110 ページ担当）	
星岳雄＝ヒュー・パトリック編、 筒井義郎監訳 『日本金融システムの危機と変 貌』	共著	2001 年 5 月	日本経済新聞社（43～68 ページ担当）	
学術論文（査読あり）				
Nakagawa,R., “Bank Herding in Loan Markets: Evidence from Geographical Data in Japan”	単著	2022 年 3 月	<i>International Review of Finance</i> , Vol. 22, Iss. 1, pp. 72 – 89. (Top downloaded article , 2022)	
Nakagawa,R., “Learnability of an Equilibrium with Private Information”	単著	2015 年 10 月	<i>Journal of Economic Dynamics and Control</i> , Vol. 59, pp. 58 – 74.	
Nakagawa, R., H. Oiwa, & F. Takeda, “The Economic Impact of Herd Behavior in the Japanese Loan Market”	共著	2012 年 9 月	<i>Pacific-Basin Finance Journal</i> , Vol.20, Iss. 4, pp. 600 – 613. (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)	
Nakagawa, R. & H. Uchida, “Herd Behavior by Japanese Banks after Financial Deregulation”	共著	2011 年 10 月	<i>Economica</i> , Vol.78, Iss.312, pp.618 – 636. (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)	
Uchida, H. & R. Nakagawa, “Herd Behavior in the Japanese Loan Market: Evidence from Bank Panel Data”	共著	2007 年 10 月	<i>Journal of Financial Intermediation</i> Vol.16, No.4, pp.555 – 583. (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)	
中川竜一 「日本における金融政策の効果 波及経路 – 1977 年～1999 年の マクロデータを用いた実証分析	単著	2002 年 3 月	『国民経済雑誌』（神戸大学経済経営学 会）第 185 巻第 3 号、1～20 ページ	

氏 名（中 川 竜 一）

関西大学

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分 のページ)
ー」			
中川竜一 「ハイパワードマネーの操作性 と日本の金融調節」	単著	2001 年 3 月	『金融経済研究』(日本金融学会) 第 17 号、38～48 ページ
中川竜一 「日本における金融政策の Lending Channel」	単著	1998 年 5 月	『証券経済研究』(日本証券経済研究 所) 第 13 号、107～131 ページ
中川竜一 「日本の短期金利決定メカニズ ムー理論と実証ー」	単著	1997 年 10 月	『経済論叢』(京都大学経済学会) 第 160 巻第 4 号、41～61 ページ
中川竜一 「1980 年代前半の日本の金融政 策ー当時の「円安」との関係ー」	単著	1996 年 11 月	『経済論叢』(京都大学経済学会) 第 158 巻第 5 号、25～45 ページ
学術論文(査読なし)			
Nakagawa, R., “Inflation targeting, anchoring of expectations, and the stability of liquidity trap”	単著	2024 年 8 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series, No. F-106, pp. 1 – 28</i>
中川竜一 「物価の社会規範と流動性の畏の 安定性」	単著	2024 年 8 月	関西大学経済学会ワーキングペーパー シリーズ、No. J-63、1～15 ページ
		2024 年 2 月	『大銀協フォーラム研究助成論文集』 第 28 号
Nakagawa, R., “Inflation targeting, expectations formation, and macroeconomic stability”	単著	2022 年 12 月	<i>RISS Discussion Paper Series, No.104, pp. 1 – 38</i>
	単著	2022 年 2 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series, No. F-100, pp. 1 - 31.</i>
Nakagawa, R., “Bank herding, size, and financial health: Evidence from Japanese Regional Banks”	単著	2021 年 1 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series, No. F-99, pp. 1 - 17 (DOI: 10.2139/ssrn.3767260)</i>
McGough, B. & R. Nakagawa, “Stability of Sunspot Equilibria under Adaptive Learning with Imperfect Information”	共著	2019 年 11 月	<i>RISS Discussion Paper Series, No.79, pp. 1 - 40</i>
	共著	2019 年 1 月	<i>Central Bank Communication Design Working Paper Series, No.005, pp. 1 - 48</i>
	共著	2018 年 10 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series No.F-88, pp. 1 - 48</i>
Nakagawa,R. “Equilibrium Indeterminacy under Forward-Looking Interest	単著	2019 年 3 月	<i>Kansai University Review of Economics, No. 21, pp. 1 - 10</i>

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分のページ)
Rate Rules”			
中川竜一 「保険会社の貸出における横並び行動」	単著	2018 年 9 月	『関西大学経済論集』第 68 巻第 2 号、1～25 ページ。
McGough, B. & R. Nakagawa, “Stable Sunspot Equilibria with Private Information”	共著	2016 年 8 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series</i> No. F-78, pp. 1 - 18.
中川竜一 「地方銀行の横並び行動に関する実証分析」	単著	2010 年 9 月	『ゆうちょ資産研究』第 17 巻、91～105 ページ
Nakagawa, R. “Learnability of Heterogeneous Misspecification Equilibrium”	単著	2010 年 3 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series</i> No.F-42
中川竜一 「総需要の利子弾力性と金融市場の不完全性」	単著	2010 年 2 月	『桃山学院大学経済経営論集』第 51 巻第 2 号、7～28 ページ
Nakagawa, R. & H. Uchida, “Herd Behavior in the Japanese Loan Market: Evidence from Semi-Macro Data”	共著	2008 年 3 月	<i>Kansai University Review of Economics</i> , No.10, pp.25 – 49. (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
Nakagawa, R., “The Taylor Principle and Indeterminacy under a Financial Market Imperfection”	単著	2006 年 5 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series</i> No.F-21
中川竜一 「信用経済における金融政策ルール」	単著	2005 年 8 月	『経済論叢』(京都大学経済学会) 第 176 巻第 2 号、142～162 ページ
Nakagawa, R., “Optimal Monetary Policy in a Credit Economy”	単著	2005 年 6 月	<i>Economic Society of Kansai University Working Paper Series</i> No.F-19
中川竜一 「国内銀行の横並び行動：地銀、第二地銀について」	単著	2004 年 7 月	川口慎二・古川顕編『現代日本の金融システムー公的金融と銀行・企業・家計の行動ー』(郵便貯金振興会)、137～154 ページ
中川竜一 「銀行資産と金融政策の有効性」	単著	2003 年 6 月	川口慎二・古川顕編『現代日本の金融システムー金融機関行動と公的支援ー』(郵便貯金振興会)、43～57 ページ
中川竜一 「国内銀行の横並び行動：実証分析」	単著	2002 年 5 月	川口慎二・古川顕編『現代日本の金融システムー金融再編成下の諸問題とその分析ー』(郵便貯金振興会)、215～236 ページ
中川竜一 「銀行資産の悪化と金融政策との関係」	単著	2002 年 3 月	筒井義郎・前多康男・内田浩史・中川竜一『資産運用リスクと公的規制』(近畿郵政局)、1～20 ページ
中川竜一 「銀行利潤と景気循環および金	単著	2001 年 11 月	『郵便貯金に関する委託研究報告書』(中国郵政局)、1～25 ページ

氏 名 (中 川 竜 一)

関西大学

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分 のページ)
融政策の有効性」			
中川竜一 「信用経済において最適な金融 政策ルール」	単著	2001 年 6 月	川口慎二・古川顕編『現代日本の金融 システムー信用経済の分析と実証ー』 (郵便貯金振興会)、193～213 ページ
中川竜一 「信用経済と銀行の役割」	単著	2000 年 12 月	『広島経済大学経済研究論集』第 23 巻第 3 号、67～81 ページ
中川竜一 「金融政策の効果と銀行利潤お よび自己資本の関係」	単著	2000 年 9 月	『広島経済大学経済研究論集』第 23 巻第 2 号、105～119 ページ
中川竜一 「日本の金融調節においてなぜ 『積み進捗率』は重要なのか？」	単著	2000 年 6 月	『広島経済大学経済研究論集』第 23 巻第 1 号、1～15 ページ
中川竜一 「1980 年代前半の日本の為替介 入政策」	単著	1996 年 7 月	『京都大学経済論集』(京都大学大学院 経済学研究科) 第 11 号、1～19 ページ
中川竜一 「1980 年代前半の日本銀行金融 政策の特徴ー当時の「円安」と の関係ー」	単著	1995 年 6 月	『岡山大学経済学会雑誌』(岡山大学経 済学会) 第 27 巻第 1 号、227～229 ペ ージ
書評			
中川竜一 「＜書評＞深尾光洋・吉川洋編 『ゼロ金利と日本経済』(日本経 済新聞社、2000 年)」	単著	2004 年 12 月	『金融経済研究』(日本金融学会) 第 21 号、135～137 ページ
その他			
中川竜一 “Learnability of Heterogeneous Misspecification Equilibrium”	単著	2010 年 11 月	『Newsletter』(一橋大学物価研究セン ター) 第 11 号、3 ページ。
中川竜一 「経済ってなに？」	単著	2010 年 2 月 12 日号	『朝日ファミリー 阪神版』(朝日新聞 グループ) 2 面。
講演・学会発表			
Nakagawa, R. “Inflation targeting, anchoring of expectations, and the stability of liquidity trap”	単著	2024 年 8 月 20 日	財団法人ゆうちょ財団 第 18 回研究 助成論文報告会 (オンライン)
中川竜一 「流動性の罠の安定性と物価の 社会規範」	単著	2024 年 7 月 17 日	関西大学経済学会 第 40 回夏季研究 大会 (関西大学)
		2024 年 3 月 17 日	Monetary Economics Workshop (大阪 産業大学)

氏 名 (中 川 竜 一)

関西大学

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分のページ)
		2024 年 2 月 15 日	第 56 回大銀協フォーラム (大阪銀行協会)
Nakagawa, R. “Inflation targeting, expectations formation, and the stability of REE”	単著	2022 年 5 月 29 日	日本経済学会 2022 年度春季大会 (横浜国立大学)
McGough, B. & R. Nakagawa, “Stability of Sunspot Equilibria under Adaptive Learning with Imperfect Information”	共著	2019 年 6 月 27 日	North American Summer Meeting of the Econometric Society (Seattle)
		2018 年 8 月 4 日	SWET: Summer Workshop on Economic Theory (北海道大学)
McGough, B. & R. Nakagawa, “Stable Sunspot Equilibria with Private Information”	共著	2017 年 2 月 27 日	Faculty Work in Progress Seminar, London School of Economics and Political Science (London)
		2016 年 8 月 23 日	31st Annual Congress of the European Economic Association & 69th European Meeting of the Econometric Society (Geneva)
		2016 年 5 月 21 日	Midwest Macro Meetings Spring 2016 (Purdue University)
		2016 年 3 月 21 日	Royal Economic Society 2016 Annual Conference (University of Sussex)
Nakagawa, R. “Learnability of an Equilibrium with Private Information”	単著	2015 年 7 月 1 日	Western Economic Association International 90th Annual Conference (Hilton Hawaiian Village Waikiki Beach Resort, Honolulu)
	単著	2014 年 1 月 31 日	Macro Group Workshop (University of Oregon)
Nakagawa, R., “Learnability of Heterogeneous Misspecification Equilibrium”	単著	2012 年 3 月 27 日	Royal Economic Society 2012 Annual Conference (University of Cambridge)
		2011 年 8 月 13 日	2011 Asian Meeting of the Econometric Society (Korea University, Seoul)
		2010 年 8 月 26 日	European Economic Association 25th Annual Congress (University of Glasgow, Glasgow)
		2010 年 8 月 2 日	SWET: Summer Workshop on Economic Theory (北海道大学)
		2010 年 7 月 13 日	関西大学経済学部研究ワークショップ (関西大学)
		2010 年 7 月 2 日	Western Economic Association International 85th Annual Conference (Portland, Oregon)

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分のページ)
		2010 年 6 月 6 日	日本経済学会 2010 年度春季大会 (千葉大学)
		2010 年 5 月 28 日	Canadian Economic Association 44th Annual Conference (Universite Laval, Quebec City)
Nakagawa, R., “Herd Behavior among Regional Banks”	単著	2011 年 7 月 1 日	Western Economic Association International 86th Annual Conference (San Diego, California)
Nakagawa, R., H. Oiwa, & F. Takeda, “The Economic Impact of Herd Behavior in the Japanese Loan Market”	共著	2010 年 6 月 30 日	Western Economic Association International 85th Annual Conference (Hilton Portland & Executive Tower, Portland)
		2010 年 5 月 15 日	日本金融学会 2010 年度春季大会 (中央大学)
		2010 年 3 月 25 日	立命館大学ファイナンス研究センター・MEW 主催『金融・行動経済学研究のフロンティア』(大阪、ブリーゼブラザ)
中川竜一 「地方銀行の横並び行動に関する実証分析」	単著	2010 年 2 月 9 日	財団法人ゆうちょ財団 第 3 回研究助成論文報告会 (メルパルク東京)
		2009 年 2 月 19 日	第 26 回大銀協フォーラム (大阪銀行協会)
Nakagawa, R., “Herd Behavior by Japanese Banks in Local Financial Markets”	単著	2009 年 7 月 10 日	Econometric Society Australasian Meeting 2009 (Australian National University, Canberra)
		2009 年 6 月 30 日	Western Economic Association International 84th Annual Conference (The Sheraton Vancouver Wall Centre, Vancouver)
		2009 年 3 月 24 日	Western Economic Association International 8th Biennial Pacific Rim Conference (Ryukoku University, Kyoto)
		2008 年 8 月 4 日	3rd International Symposium on Economic Theory, Policy and Applications (Athens Institute for Education and Research, Athens)
Nakagawa, R. & H. Uchida, “Herd Behavior by Japanese Banks after Financial Deregulation in the 1980s”	共著	2008 年 7 月 18 日	2008 Far Eastern and South Asian Meeting of the Econometric Society (Singapore Management University, Singapore) (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
		2008 年 5 月 24 日	日本金融学会 2008 年度関西部会 (神戸大学)

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分のページ)
Nakagawa, R. & H.Uchida, “Herd Behavior in the Japanese Bank Lending Market since the 1980s”	共著	2007 年 7 月 4 日	Australasian Meeting of the Econometric Society (University of Queensland, Brisbane, Australia) (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
Nakagawa, R., “The Taylor Principle and Indeterminacy under a Financial Market Imperfection”	単著	2006 年 12 月 18 日	第 4 回現代経済政策研究会議『現代日本の望ましい金融政策運営』(関西社会経済研究所)
		2006 年 7 月 6 日	Australasian Meeting of the Econometric Society (Alice Springs, Australia)
Nakagawa, R. “Optimal Monetary Policy in a Credit Economy”	単著	2005 年 9 月 17 日	日本経済学会 2005 年度秋季大会 (中央大学)
		2005 年 7 月 15 日	日本金融学会 2005 年度関西部会 (大阪銀行協会)
筒井義郎・前多康男・内田浩史・中川竜一 「資産運用リスクと公的規制」	共著	2003 年 3 月 14 日	第 42 回関西金融懇談会 (近畿郵政局) (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
Nakagawa, R. & H. Uchida, “Herd Behavior between Different Types of Banks in Japan”	共著	2002 年 10 月 12 日	日本経済学会 2002 年度秋季大会 (広島大学) (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
中川竜一 「銀行利潤と景気循環および金融政策の有効性」	単著	2001 年 12 月 3 日	第 18 回金融問題懇話会 (中国郵政局)
中川竜一 「信用経済における最適な金融政策ルール」	単著	2001 年 9 月 29 日	日本金融学会 2001 年度秋季大会 (福島大学) (共同研究につき、本人担当部分抽出不可能)
中川竜一 「日本における金融政策の効果波及経路の実証分析-1977 年～1999 年までのマクロデータを用いて-」	単著	2001 年 5 月 26 日	日本金融学会 2001 年度春季大会 (慶應義塾大学)
中川竜一 「銀行利潤と景気循環および金融政策の有効性」	単著	2000 年 5 月 13 日	日本経済学会 2000 年度春季大会 (横浜市立大学)
中川竜一 「金融政策と銀行の利潤、および貸出能力との関係」	単著	1999 年 5 月 29 日	日本金融学会 1999 年度春季大会 (明治大学)
中川竜一 「日本における金融政策の Lending Channel」	単著	1998 年 2 月 2 日	第 4 回大銀協フォーラム (大阪銀行協会)
中川竜一 「金融政策と銀行の貸出行動」	単著	1997 年 11 月 2 日	日本金融学会 1997 年度秋季大会 (北海道大学)
中川竜一 「『日銀理論』に基づく短期金利	単著	1997 年 5 月 17 日	理論計量経済学会 1997 年度春季大会 (滋賀大学)

氏 名 (中 川 竜 一)

関西大学

著書・学術論文の名称	単著 ・ 共著	発行・発表の年月	発行所・発表雑誌・発表学会の名称(巻) (共著の場合は、共同執筆者名、担当部分 のページ)
決定メカニズムー『積み進捗率』 の効果ー」			
査読	Japanese Economic Review (2009, 2024)、Economic Notes (2019)、Journal of Banking & Finance (2013)、International Review of Economics and Finance (2008)、金融経済研究（日本金 融学会、2008、2013）、社会システム研究（立命館大学、2004）		
所属学会	関西大学経済学会 日本金融学会 日本経済学会 American Economic Association Econometric Society European Economic Association Royal Economic Society Western Economic Association International		

年 月 日	職 歴 ・ 賞 罰 ・ そ の 他 の 事 項
	研究助成歴
令和 5 年 7 月 1 日	一般財団法人 ゆうちょ財団 2023 年度 研究助成 ～ 令和 6 年 6 月 30 日
令和 2 年 4 月 1 日	文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (No. 20K01556) ～ 令和 6 年 3 月 31 日
令和元年 6 月 27 日	公益財団法人 村田学術振興財団 研究者の海外派遣援助 ～ 令和元年 6 月 30 日
平成 28 年 10 月 1 日	公益財団法人 石井記念証券研究振興財団 平成 28 年度研究助成 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
平成 27 年 4 月 1 日	文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) (No. 15K03372) ～ 平成 31 年 3 月 31 日
平成 25 年 9 月 1 日	公益財団法人 村田学術振興財団 研究者の海外派遣援助 ～ 平成 25 年 9 月 30 日
平成 25 年 9 月 1 日	公益財団法人 野村財団 2013 年度上期国際交流助成 (研究者の海外派遣) ～ 平成 25 年 9 月 30 日
平成 23 年 4 月 1 日	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (No. 23530234) ～ 平成 27 年 3 月 31 日
平成 22 年 12 月 24 日	財団法人 全国銀行学術研究振興財団 2010 年度研究助成 ～ 平成 23 年 6 月 30 日
平成 22 年 4 月 1 日	公益財団法人 野村財団 2010 年度上期海外派遣助成 ～ 平成 22 年 9 月 30 日
平成 21 年 7 月 1 日	財団法人 かんぼ財団 平成 21 年度調査研究助成 ～ 平成 22 年 6 月 30 日
平成 20 年 10 月 1 日	財団法人 石井記念証券研究振興財団 平成 20 年度研究助成 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
平成 20 年 8 月 1 日	財団法人 ゆうちょ財団 平成 20 年度研究助成 ～ 平成 21 年 7 月 31 日
平成 20 年 8 月 1 日	文部科学省平成 20 年度「人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」(関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構) 委託研究 ～ 平成 21 年度 3 月 31 日
平成 20 年 4 月 1 日	財団法人 学術振興野村基金 2008 年度上期海外派遣助成 ～ 平成 20 年 9 月 30 日
平成 20 年 4 月 1 日	文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B) (No. 20730139) ～ 平成 23 年 3 月 31 日
平成 19 年 12 月 25 日	社団法人 大阪銀行協会 平成 19 年度大銀協フォーラム研究助成 ～ 平成 20 年 12 月 25 日

年 月 日	職 歴 ・ 賞 罰 ・ そ の 他 の 事 項
平成 19 年 10 月 1 日	財団法人 全国銀行学術研究振興財団 2007 年度研究助成 ～ 平成 20 年 9 月 30 日
平成 18 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 18 年度委託研究助成 ～ 平成 19 年 3 月 31 日
平成 17 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 17 年度委託研究助成 ～ 平成 18 年 3 月 31 日
平成 15 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 15 年度委託研究助成 ～ 平成 16 年 3 月 31 日
平成 14 年 4 月 1 日	学校法人 石田学園広島経済大学 平成 14 年度特定個人研究助成 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
平成 14 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 14 年度委託研究助成 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
平成 13 年 10 月 1 日	財団法人 全国銀行学術研究振興財団 2001 年度研究助成 ～ 平成 14 年 9 月 30 日
平成 13 年 10 月 1 日	近畿郵政局 平成 13 年度委託研究助成（共同研究） ～ 平成 14 年 3 月 31 日
平成 13 年 4 月 1 日	学校法人 石田学園広島経済大学 平成 13 年度特定個人研究助成 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
平成 13 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 13 年度委託研究助成 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
平成 12 年 4 月 1 日	学校法人 石田学園広島経済大学 平成 12 年度特定個人研究助成 ～ 平成 13 年 3 月 31 日
平成 12 年 4 月 1 日	中国郵政局 平成 12 年度郵便貯金に関する委託研究助成 ～ 平成 13 年 3 月 31 日
平成 12 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 12 年度委託研究助成 ～ 平成 13 年 3 月 31 日
平成 11 年 4 月 1 日	学校法人 石田学園広島経済大学 平成 11 年度特定個人研究助成 ～ 平成 12 年 3 月 31 日
平成 11 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 11 年度委託研究助成 ～ 平成 12 年 3 月 31 日
平成 10 年 10 月 1 日	財団法人 全国銀行学術研究振興財団 1998 年度研究助成 ～ 平成 11 年 9 月 30 日
平成 10 年 4 月 1 日	財団法人 郵便貯金振興会 平成 10 年度委託研究助成 ～ 平成 11 年 3 月 31 日
平成 9 年 12 月 25 日	社団法人 大阪銀行協会 平成 9 年度大銀協フォーラム研究助成 ～ 平成 10 年 12 月 25 日
	賞罰（研究）

年 月 日	職 歴 ・ 賞 罰 ・ そ の 他 の 事 項
令和 4 年 11 月 25 日	2022 年度大銀協フォーラム研究助成 特別賞 （社団法人大阪銀行協会）
平成 20 年 2 月 26 日	平成 19 年度大銀協フォーラム研究助成 特別賞 （社団法人大阪銀行協会）
平成 10 年 2 月 20 日	平成 9 年度大銀協フォーラム研究助成 優秀賞 （社団法人大阪銀行協会）
	上記のとおり相違ありません。